

2018年度(平成30年度)第4回JTU理事会
2019年3月23日

公益社団法人 日本トライアスロン連合

2018年度(平成30年度)第2回臨時理事会 議事録(案)

[1]開催:2018年12月26日(水)10:01~14:08

[2]場所:JTU事務局(東京都渋谷区)会議室

[3]出席者(理事22名、監事1名):

岩城光英、國分孝雄、森崎俊紘、仲井公哉、大塚眞一郎、中山正夫、岸田吉史、
飯島健二郎、山倉紀子、鈴木貴里代、和田知子、関根明子、山根英紀、増田芳一、
園川峰紀、山倉和彦、小林洋、吉田隆雄、宗定敏文、川崎寛典、加納修二、森兵次(以上、理事)。
荻原政吉、(以上、監事)。

・専門委員出席(3名)

中山俊行(オリンピック対策チームリーダー)、山本良介(アスリート委員長)、福井英郎(コーチ委員長)。

・事務局出席(4名)佐藤政人、坂田洋治、土屋佳司、児玉健太。

[4]議事の経過

事務局が出席理事を一人ずつ確認し、JTU 定款第6章(理事会)第34条(決議)により、定足数を満たしていることを報告した。定款33条(議長)により、岩城会長が議長として開催宣言を兼ねた挨拶を行った。その後、議事録確認者に大塚専務理事と園川理事、議事録作成者に事務局方を指名して直ちに議案の審議に入った。

第1号議案)第32回オリンピック競技大会(2020/東京)トライアスロン競技日本代表選手選考基準案

標題について事務局から説明があり、中山リーダー、飯島常務理事から補足説明があった。質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、一部記載方法の修正を加えることで満場異議なく承認可決した。

・承認事項)第32回オリンピック競技大会(2020/東京)トライアスロン競技日本代表選手選考基準

・説明骨子)基準内容の説明に先立ち、本大会にはITU出場資格システムに基づき、ITUオリンピック出場資格ランキング140位以内の確保が必須条件であることが再周知され、選考基準設定の概況と目的が説明され、ミックスリレーでのメダル獲得を第一優先目標とし、各個人種目の目標達成を目指すことが補足された。

・補足説明)ミックスリレーは個人種目とは異なり、チームスポーツの特性が強く、選手特性等を考慮し、出走順等の選考を行っていく必要がある。

・主要意見1)基準設定の概況と目的において、本大会での目標の設定の根拠を明確すべきであると意見

があり、現状のランキング状況を示し、各種目の目標設定を明確とした。

- ・主要意見2)選手選考時には透明性が求められるため、選手への明確に説明ができるよう各選考大会を正確に記録することが必要である。
- ・主要意見3)選考対象大会に不測の事態(競技の中止や競技フォーマットの変更等)が発生した場合の具体的な対応について、さらに事前準備と議論を行う必要がある。

第2号議案)2018 年度エリート強化指定制度における O 指定選手への支援体制標題について事務方から説明があり、質疑応答の後に、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項)2018 年度エリート強化指定 O 指定選手への補助金の支給
(O1 指定:80 万円/四半期毎、O2 指定:50 万円/四半期毎)
- ・説明骨子1)2018 年度より「O 指定選手認定に係る補助金の支給(O 指定補助金)」から「大会成績に基づく補助金支給(ITU 賞金準拠制度)」へ移行を検討していたが、国庫補助金による強化費配分状況等から、今年度の移行は見送り、例年通りの O 指定補助金支給を行う。
- ・説明骨子2)2019 年度(2018 年 12 月 1 日以降適用)は ITU 賞金準拠制度を適用した支援体制を適用する。詳細は次回理事会での審議を行う。

第3号議案)組織図改訂と専門委員会設置

標題について事務方から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- ・承認事項1)組織図(委員・メンバーの配置調整)
 - ・オリンピック対策チームの配置調整:男子ヘッドコーチ・パトリックケリー、男子マネージャー:ジェイソン・リーブレクト、男子アシスタントコーチ・村上晃史)
 - ・パラリンピック対策チームメンバーの追加:強化担当アシスタントコーチ・高橋慶樹、菊池日出子
 - ・強化チーム内にハイパフォーマンスマネジメントチームを追記
- ・承認事項2)組織図(専門委員会・相談窓口の追加方針)
 - ・セカンドキャリア相談窓口(仮称)
現役続行のための就職支援・活動、引退時のキャリア支援を行う。
 - ・セミナー・フォーラム委員会(仮称)
大会以外のセミナー等のイベント事業の掌握を行う。
- ・補足事項)専門委員会規程改定は 3 月の理事会で審議の上、4 月 1 日からの施行を行う。

